

# 消防だより

今年の出動件数

火災 : 4 件  
 救急 : 809 件  
 救助 : 7 件  
 (令和2年(2020年)8月31日現在)

病院紹介(和歌山県救急医療情報センター) ☎073・426・1199

有田川町消防本部 ☎52・5950  
 吉備金屋消防署 ☎52・5950  
 清水消防署 ☎25・1243

## 入浴中の事故防止

秋も深まり寒い時季が近づいてきています。

毎年寒い時季には「ヒートショック」という現象による浴室での事故が起こりやすくなります。これは浴室と湯船の温度差で、湯船につかったとたんに脳への血流が減少し、気を失ってしまい、そのまま浴槽内で溺れてしまう怖い現象です。これを防ぐためには浴室内を温かくしておくことが必須です。

この他にも、飲酒後や薬の服用後の入浴で、湯船の中で眠ってしまい、



事故につながるような事例もあります。しっかり事故への対策をし、気持ちよく入浴してください。

## 住宅用火災警報器は正しく維持管理しましょう

火災から人の命・財産を守る住宅用火災警報器。総務省消防庁で住宅火災における被害状況を調べたところ、住宅用火災警報器が設置されている場合は設置されていない場合に比べ、被害状況がおおむね半減したという結果になりました。しかし、住宅用火災警報器もいざという時に正常に作動しなければ意味がありません。

すべての住宅に火災警報器の設置が必要となつてから、10年近くが経過しました。火災警報器の電池寿命は10年とされており、本体内部の電子部品が劣化し、火災を感知しなく

なる場合もあるため10年を目安に交換しましょう。

設置から10年経過していないものであっても故障することがあります。定期的に点検ボタンを押すか、点検ひもを引っ張って作動確認を行います。まだ設置していない家庭は早めに設置してください。

住宅用火災警報器交換のおすすめ  
10年たったら、とりかえろ。



## インフルエンザの感染予防

毎年秋から冬にかけては、インフルエンザの流行シーズンです。特に今年は新型コロナウイルス感染症の影響から、インフルエンザの感染予防の必要性が指摘されています。

## どっぴやって感染するの？

### ●飛沫感染

感染者がくしゃみやせきをした際、つばなどの飛沫と一緒にウイル

スが放出され、別の人がそのウイルスを口や鼻から吸い込んで感染

### ●接触感染

ウイルスが付着した手で口や鼻、目を触って粘膜から感染

インフルエンザを予防するためにはこうした感染経路を絶つことが重要です。

## インフルエンザから身を守るためには

- ・正しい手洗い
- ・普段の健康管理
- ・予防接種を受ける
- ・適度な湿度(50~60%)を保つ
- ・人混みや繁華街への外出を控える

インフルエンザも新型コロナウイルス感染症も、感染を広げないために一人一人が「かからない」「うつさない」ための対策を実践しましょう。

